



島根県立大学 松江キャンパス発

令和4年度

地域研究と 教育

vol.
11



島根県立大学松江キャンパス発

「地域研究と教育 Vol.11」

はじめに

島根県立大学松江キャンパスは、四年制の人間文化学部（保育教育学科・地域文化学科）、短期大学部（保育学科・総合文化学科）の2学部4学科で構成され、全教員47名と職員それぞれの専門領域において、研究・教育、ならびに、教育支援にあたっています。この2学部体制になって早5年経ちました。

令和4年度は、人間文化学部では新カリキュラムに基づき、コロナ禍に配慮した内容で地域の皆様と関わる授業を実施しました。また、短期大学部においては、「キッズランド」「キッズシアター」の開催、文化情報誌の制作など、継続的に地域での活動を行っております。

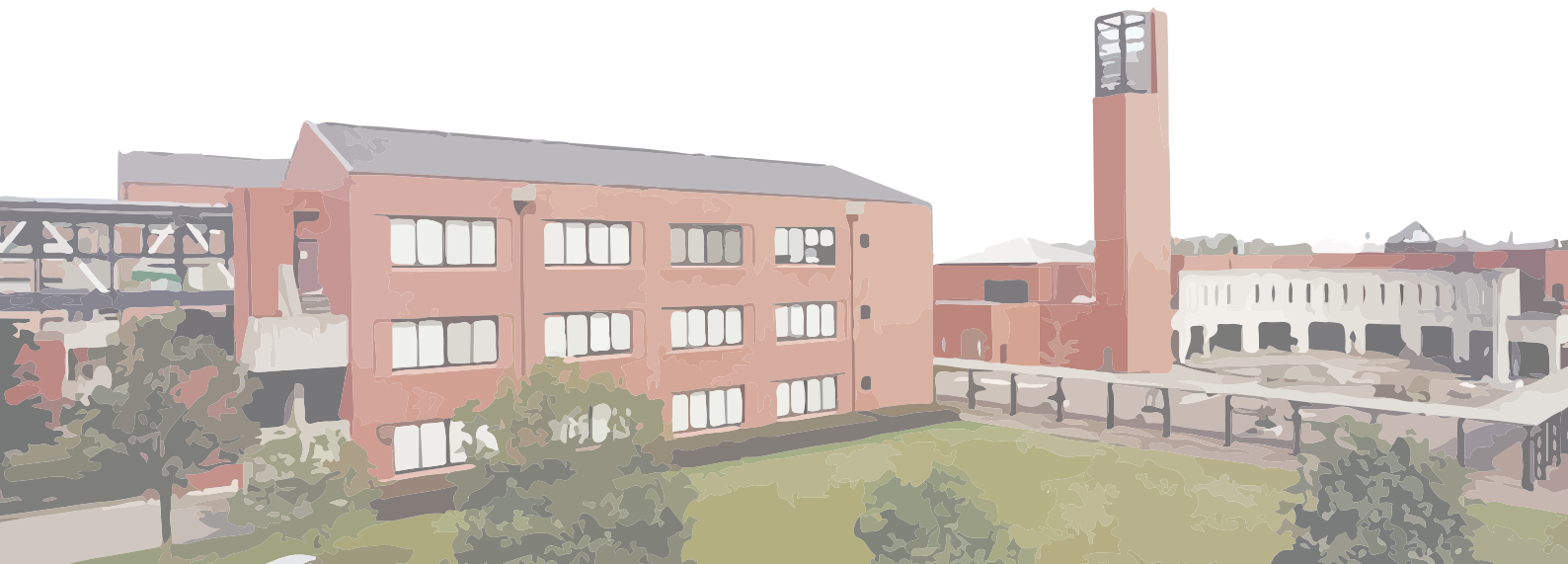
この「地域研究と教育」は、平成24年度に創刊され、本学教員による地域に特化した研究、ならびに、地域と連携した各学科の特徴的な教育活動を、松江キャンパス独自に紹介しているものです。創刊時と比較しますと、島根を対象とした研究・教育活動を行う教員、および、地域との連携に熱心な職員が増えてきていることを実感します。「地域連携貢献活動の取組状況」など、本誌に掲載する内容が年々増加し、昨今の印刷・用紙代の高騰と睨み合いながら、ページ数を増やさずに、少しでも見やすいレイアウトとなるよう工夫しました。

令和5年度には、短期大学部の総合文化学科が「文化情報学科」に名称変更し、文化・文学・地域の学びに加えて、情報を発信する力を育みます。

これからも、島根県の公立大学として、地域の将来を担う人材の育成、研究を重ねてまいります。地域の皆様には、さらなるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和5年3月

松江キャンパス地域連携推進委員長 工藤泰子



CONTENTS

人間文化学部



保育教育学科

02	教育機会の拡充／キャンパス間の交流(石見神楽体験ワークショップ)
03	しまね地域マイスター制度(人間文化学部)／客員教授講演会
04	地域貢献推進奨励金／島根を創る人づくり事業
05	地域の皆様からの学生支援
06	里親家庭の交流会(ひまわりネットの会)
06	子どもの読み書き・学習支援による地域貢献事業(将来の職業に対するイメージの明確化)
07	音楽ホールのステージに寝転んでみよ！〈造形ワークショップ『音を描く』〉
07	湖南中学校 人権講習会〈「人を分けるものってなんだろう?」〉
08	誰一人取り残さない柔道 in島根県
08	3C「夢」clubの挑戦 in雲南市
09	保育教育職現場体験活動Ⅰ・Ⅱの活動(現場体験ボランティアによる基礎的な実践的指導力を身につけた保育者・教育者の養成)



地域文化学科

10	地域を知り考えるための教育〈多文化共生論〉
10	地域を知り考えるための教育〈観光まちづくり演習〉
11	地域を知り考えるための教育〈Kids'English〉
11	大森まちなか図書館計画〈図書館情報学ゼミ〉
12	地域を見つめる多様な研究〈出雲の神話・伝承についての研究〉
12	地域を見つめる多様な研究〈石見地方の伝統的建造物群保存地区の住居管理と瓦屋根景観〉
13	地域を見つめる多様な研究〈海士町における民具の保存と利活用に関する研究〉
13	地域の学校から学ぶ教職課程

短期大学部



保育学科

14	キッズランド・キッズシアター2022〈学生の主体的な学びを目指して〉
15	島根県を対象にした卒業研究〈島根県の民話に関する研究－生き物が出てくる話を中心に－〉
15	乃木こども食堂〈地域の人たちとともに〉
16	「こっそり畑」プロジェクト〈島根県立松江農林高等学校との高大連携活動〉
17	音楽研究室の取り組み〈山陰地方に伝わるわらべうたの研究〉



総合文化学科

18	地域の情報を発信する〈情報応用〉
18	Rubyプログラミング体験〈プログラミング教育活動〉
19	フィールドワークの実践〈総合文化研修Ⅰ〉
20	ゼミ活動で地域に向き合う〈総合文化ゼミナールⅡ〉
20	島根の魅力を英語で発信〈文化とガイド〉
21	地域の文化を取材して紹介〈文化情報誌制作〉

22	教育機関との連携
24	授業における連携
26	地域志向研究活動一覧(H30～R4)
28	地域連携(貢献)活動の取組状況(講師・委員歴・その他活動)
32	教育課程のための地域との連携(実習実施施設・機関一覧)
33	教員紹介

▶ 教育機会の拡充

令和4年度、松江キャンパスでは県内高校との教育連携にさらに力を入れてきました。松江北高校、松江東高校、松江南高校、松江商業高校、松江農林高校、安来高校、出雲高校、大田高校、平田高校、三刀屋高校、大多和学園開星高校、邇摩高校、益田翔陽高校、益田高校、矢上高校、隠岐島前高校からの依頼を受け、本学教職員は高校生に対し、講義や課題研究の指導・助言を行いました。

また、近隣の教育機関については、中学校、小学校、幼稚園、幼保園における、本学学生による絵本の読み聞かせやボランティア活動、松江商業高校での公開授業見学、特別支援学校との交流、図書館交流など、継続して多彩な形で連携交流をはかっています。

▶ キャンパス間の交流(石見神楽体験ワークショップ)

浜田キャンパスの江口真理子先生(国際関係学部教授)主宰の「石見神楽体験ワークショップ」に、松江キャンパスの人間文化学部地域文化学科学生5名が参加しました。

江口先生による石見神楽と演目(八幡)の解説後、「舞濱社中」(浜田キャンパスの学生)による迫力ある本格的な演舞を鑑賞しました。続くワークショップでは、神楽で使用される道具(刀剣や大蛇の蛇腹)の使い方を、舞濱社中の学生さんに指導していただきました。

参加した学生たちは、これまで神楽について学習していましたが、実際に鑑賞・体験でき、有意義な時間を過ごせました。また、今回のイベントで、5名全員が初めて浜田キャンパスを訪問し、異なるキャンパスの学生が交流することができました。



舞濱社中の演舞を鑑賞



舞濱社中学生の指導のもと、大蛇の体験

▶ しまね地域マイスター制度(人間文化学部)

島根県立大学では、しまね、ならびに、地域の諸課題に関する卒業研究を完成させた学生に対して、本学独自の称号「しまね地域マイスター」を授与します。松江キャンパス人間文化学部では、平成30年度の学部設立と同時に本制度を開始しました。本制度は登録制で、令和3年度入学までの学生を対象に、要件をすべて満たして優秀な成績を修めた者と認めた場合には、マイスター称号を卒業時に授与します。令和4年度は、地域文化学科8名の学生が「しまね地域マイスター」として認定されました。

マイスターに認定された学生は、2月に行われた「KENDAI 縁結びフォーラム」にて卒業研究の要旨を公表しました。

学生氏名	研究題目	指導教員
石橋 美月	松江城周辺の観光におけるSNSの活用について	工藤泰子教授
内田 梨香子	松江市における夜間観光の可能性について	工藤泰子教授
作野 広佳	地域における文化芸術活動の実践の場を持続的に運営するには —アートプロジェクトの視点からしまね映画塾を事例に—	竹田茉耶准教授
深津 佑奈	過疎地域に立地する道の駅を存続させていくには 一道の駅発祥の地「掛谷の里」を対象に—	竹田茉耶准教授
三加茂 歩実	出雲市におけるサイクルツーリズムの可能性	竹田茉耶准教授
山下 健太	「ぐるっと松江堀川めぐり」の変遷とその背景についての考察	竹田茉耶准教授
村松 春香	現代の佐陀神能保存会における演者と演目の関係について	中野洋平准教授
飯塚 真美	神話における水辺—『古事記』を中心に—	山村桃子准教授

▶ 客員教授講演会

令和4年度は、感染症拡大防止のため大幅に規模を縮小し、オンラインで、客員教授講演会を実施しました。

●客員教授講演会

日 時：2022年12月7日(水)

講 師：牧野陽子先生(比較文学：成城大学名誉教授)

タイトル：「ラフカディオ・ハーン作“Chin-chin Kobakama—The Fairies of the Floor-Boards”をめぐって～地下にひそむ小さな妖精・妖怪たち」

▶ 地域貢献推進奨励金

島根県立大学では、島根県内の地域貢献活動に主体的に取り組む学生の活動に必要な経費を支援しています。県内の地域課題解決に資するとともに、学生の課題解決能力を育成し、県内全域をフィールドとした地域教育を推進していきます。

◎R4 松江キャンパス活動一覧

学科	代表者	活動名
保育教育	西村 健一 准教授	ヴァーチャルでアクアスに行こう
地域文化	藤居 由香 教授	住宅管理から検討する伝統的建造物群保存地区の町並み景観の地域性継承(防災編)
保 育	宮下 裕一 教授	「ゆきみーる」での実践をもとに3サークル合同企画による子どもの遊び場・居場所づくり
保 育	小林 美沙子 准教授	「こっそり畑」プロジェクト2022

▶ 島根を創る人づくり事業

島根県立大学では、島根を学び、島根で就職する学生を増やすため、学生と県内高校生との地域学習や学生による地域活動、また学生が地元企業を知る機会づくりに係る経費を助成しています。

◎R4 松江キャンパス「地域貢献活動」一覧

学科	代表者	活動名
保育教育	内山 仁志 准教授	こどもの読み書き・学習支援による地域貢献事業
保育教育	梶間 奈保 准教授	松江キャンパスが学びの場!みんなで子どもの学びを広げる・加わる・考える —「こどものだいがく」子どもと一緒に〇〇〇!
地域文化	竹田 茉那 准教授	観光まちづくり事業
保 育	梶谷 朱美 教授	ミライキッズ山陰プロジェクト

地域の皆様からの学生支援

コロナ禍等においてアルバイト収入や仕送りが減り、生活が苦しくなった本学学生のためにと、地域の方々（個人・団体・法人の皆様）から、基金への御寄付、お米、野菜などの食料をご寄贈いただきました。たくさんのご支援をありがとうございました。教職員一同、心より御礼申し上げます。



～ 令和4年度より、NPO法人 フードバンクしまね あったか元気便 とのつながりづくり始めました ～

NPO法人 フードバンクしまね あったか元気便は、地域の方や企業などから余剰食品の提供を受け、就学援助世帯等への食料提供や子ども食堂、余暇支援などを行っている民間団体です。

学生のためにと、お米、常温食品、冷蔵・冷凍食品など様々な食料をたくさん提供いただき、ひとり暮らしの学生などへ配布しました。

学生への食の支援だけでなく、フードバンク活動を知ることや同団体の諸活動へのボランティア参加などを通じて今後も交流を深めていきたいと思えます。

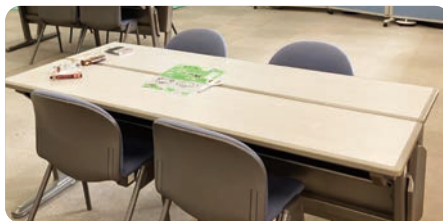


里親家庭の交流会(ひまわりネットの会)

保育教育学科教授 藤原 映久 / 准教授 内山 仁志

現在の日本では、約4万2千人の子どもたちが、保護者の不在、保護者の障がいや疾病、児童虐待などから家庭を離れ、社会的養護と呼ばれる制度の下で生活しています。具体的には、里親委託や養子縁組といった家庭養護、乳児院や児童養護施設といった施設養護が社会的養護の場です。従来の日本は施設養護が中心でしたが、現在、家庭養護に軸足を移そうとしています。乳児院や児童養護施設には里親支援専門相談員が配置され、里親家庭を支援するとともに、施設から里親宅に生活の場を移す子どもたちも増えつつあります。

そのようななか、松江赤十字乳児院では、乳児院から里親家庭に移って生活する子どもたちと里親の交流会である「ひまわりネットの会」を開催し、里親家庭を支援しています。本学でも、何らかの形で里親家庭を支援したいとの思いから、里親と学生の交流会や教員による里親向けの研修会などを行ってきましたが、ここ2、3年は新型コロナウイルスの流行に伴い、十分な活動ができませんでした。しかし、令和4年度は、松江赤十字乳児院と本学の学生・教員の協働により、本学を会場として「ひまわりネットの会」を開催しました。みんなでプラバンなどの工作やトランポリンやスラックラインなどの運動遊びをしたり、里親同士の話し合いをしたりしました。短い時間でしたが、コロナ禍の中、この本学で、里親家庭で生活する子どもたちの笑顔を見ることができた大変有意義なひと時でした。



子どもの読み書き・学習支援による地域貢献事業

将来の職業に対するイメージの明確化

保育教育学科准教授 内山 仁志

本事業では、県立大学学生による読み書きに困難を抱える子どもを対象とした読み書きおよび学習支援に関する活動を実施しました。事業から得られる効果として、保育教育職を目指す学生が、実際に子どもへの支援を実施、継続していく中で、将来自分が保育教育職を専門とするスタッフとして働くイメージを明確に描けるようにすることでした。

この取り組みに参加した学生からは、読み書きは自然に習得できるものではなく、きちんとした教え方によって習得できるものであることを実感しました、T式ひらがな音読支援や多層指導モデル(MIM)といった読み書きの指導法が確立していることを知ることができました、具体的な教示方法がわかりました、個々の子どもの特性をプロファイルすることで指導方法を適宜カスタマイズしていくという観点は面白いと感じました、といった意見が挙がりました。これらのことから、この活動を通じて、将来、保育教育職を目指す学生にとってその思いを強くする活動となったことがうかがえました。

またこの読み書き支援で行ったことに関して、しまね大交流会(しまね産官学人材育成コンソーシアム)に学生自身が自主的に参加申込を行い、この取り組みの大切さを島根県のみなさんに紹介することができました。そうした活動に発展したことも本事業がもたらした重要な成果であると考えています。



音楽ホールのステージに寝転んでみよ！

造形ワークショップ『音を描く』

保育教育学科准教授 福井 一尊

松江市総合文化センター「プラバホール」には、全国に誇る大きなパイプオルガンがあります。ホール専属のオルガニストと福井准教授は、このホールを地域の子供たちとじっくり楽しむ企画を考えました。パイプオルガンの響きを全感覚で感じ、それを色と形で表現する体験活動です。

パイプオルガンの響きを最も感じられるステージ上で寝転んでみると、ステージ自体が大きく振動していることが分かります。パイプオルガンの音が一旦天井に上がり、天井からホール全体に降り注いでいることを聴覚と視覚、そして身体感覚で感じられるのでした。この音楽を浴びる体験は、参加者の感情のヒダを揺らします。その感動を色や形で表現する子ども向け造形ワークショップを実施したのです。

抽象表現を難なくやってのける子供の姿

ホールの形は楕円形です。制作の土台となる色画用紙も楕円形の物をたくさん準備して、子供たちに色を選んでもらいました。その楕円形の色画用紙に93色の色紙をちぎって貼って表現をします。ステージ上の好きな場所に画用紙を置き、色紙を広げると制作意欲が一気にピークに高まります。色紙を破る感触や音も面白いので、どんどん新しい形が誕生します。その色紙を並べたり重ねたりしながら貼り進めると、また新たな形が生まれてくるのです。頭の中に完成図があるかのように、次々と色を選び、形を生み出しては貼っていきます。造形を始める前こそ周囲の様子を気にしていた子供も、瞬く間に集中します。ほとんど会話も発生しないその真剣な表情からは深い自己対話をうかがうことができました。

躊躇なく制作に没入した参加者は、途中で他者の作品を気にする素振りも全く見せず、一気につくり上げていくのでした。そして、制作後には、自分たちの抽象表現について、たっぷりとおしゃべりを楽しみました。

講師：福井一尊准教授 米山麻美(プラバホール専属オルガニスト)
日時：2022年5月21日(土)10:00~12:00
場所：松江市総合文化センター「プラバホール」
参加者：小学生 30名 サポート：保育教育学科3年生 2名
主催：地域が盛りあがるプラバ応援隊実行委員会



湖南中学校 人権講習会

「人を分けるものってなんだろう？」

保育教育学科准教授 前林 英貴

令和4年11月6日に松江市立湖南中学校で人権講習会が開催され、今回松江キャンパスの地域文化学科4年生の藤村光さんと講師に招かれました。藤村さんは難病を患っており、車イスの生活を送っています。この講習会は、全学年の生徒とその保護者、教職員を対象とし、講演会を通して障がいに対する理解が深まることをねらいとしています。

私からは令和3年の9月に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）」に関する説明と、島根県立大学松江キャンパスのこれまでの障がい学生への取り組みについてお話をさせていただきました。また、後半では藤村さんが登壇し、「人を分けるもの」、「本当の自分とは？」について、現在大学生である等身大の自身の思いを湖南中学の皆さんに語りかけてくれました。その後頂いた生徒さんの感想から、藤村さんの言葉が多くの生徒の心に響いたことが分かりました。「分ける」ことは偏見や差別を生むことがあります。このような機会を大切に、インクルーシブ社会の実現に今後も貢献したいと思います。



誰一人取り残さない柔道 in島根県

保育教育学科准教授 西村 健一

新型コロナウイルスの影響により、支援が必要な子どもたちの、運動を楽しむ機会が減少しています。そこで、私は松江キャンパスの学生と一緒に、松江市や出雲市で行われている柔道教室にボランティアとして参加しています。障がいの有無に関係なく、参加したい子どもたちが参加するユニバーサルな柔道です。

柔道の練習である「座礼」や「立ち技」などに加えて、「遊び」の要素を取り入れた活動もあります。例えば、「鬼ごっこ」、「縄跳び」、「綱引き」、「リレー」など、楽しい運動のオンパレードです。私も学生も、そして子どもたちも、汗をかきながら運動を楽しんでいます。

この活動をとおして、柔道初心者の県立大学生も柔道を楽しんでいます。大学内の一室に畳を敷き、柔道のサークル活動として熱心に取り組んでいます。その結果、柔道初心者であっても、黒帯(初段)を取得する学生が年々増えてきました。

私と学生は、柔道に関する学びの場としてインターネット上での学習会などにも参加しています。その内容をまとめた「誰一人取り残さない柔道ー柔道人口が増える3つの視点ー」を2023年1月に特定非営利活動法人 judo3.0 より出版しました。この本には、松江市や出雲市のほかに、浜田市、益田市における柔道の取り組みも記載しています。これからも、誰一人取り残さない柔道の実現に向けて取り組みを続けていきます。



3C「夢」clubの挑戦 in雲南市

保育教育学科准教授 西村 健一

支援が必要な子どもたちにとって、夢を持ち実現に向けてチャレンジをすることはとても大切です。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により、子どもたちがやりたいことにチャレンジする場は減っています。そこで、私と県立大学生は、「3C 夢 club」にボランティアとして参加しています。「3C 夢 club」は、特別支援学級などに在籍する要支援の子どもたちを対象とした取り組みです。「3C 夢 club」は、「Chance：機会を活かす」、「Challenge：果敢に挑戦する」、「Change：変化・進化する」の3つの頭文字「C」を用いた名前です。活動プログラムには、「水泳と水遊び」、「楽しい書道と楽しい絵画」、「お花を楽しくいけましょう」、「役に立つ楽しい料理教室」、「雲南市を歩いて新しい何かを発見しよう」、「手芸・ものづくりの世界」、「つくって遊ぼう」の7教室があります。

ボランティアの形態は様々です。子どもと一緒にプールで泳ぐ直接支援だけでなく、活動写真や文字記録など間接的な支援も行っています。また、支援者が集まるプログラムの検討会にも出席し「3C 夢 club」がよりよい取り組みに成長するように発言をしています。さらに、活動報告書作成にも協力しています(表紙の絵は、保育教育学科の田中千智さんの絵です)。

「3C 夢 club」の取り組みはまだまだ始まったばかりです。今後は、雲南市の高校生とも一緒にボランティア活動をしてみたいと思っています。これからも、雲南市の要支援の子どもたちが力いっぱい自分の夢に取り組める場となる様に、県立大学の学生も協力をしていきます。



保育教育職現場体験活動Ⅰ・Ⅱの活動

現場体験ボランティアによる基礎的な実践的指導力を身につけた保育者・教育者の養成

保育教育学科准教授 梶間 奈保 / 講師 牧瀬 翔麻



保育教育学科では、令和4年度以降の入学生に対して、卒業必修科目「保育教育職現場体験活動Ⅰ・Ⅱ」を開講しています。本学科は、必要な科目を履修することで、卒業時に複数の免許・資格を取得することができます。そのため、1年次に専門職の職務内容、各分野の実態や特徴等を広く理解したうえで、2年次進級時に取得免許・資格を決定できるよう、4年間の体系的なカリキュラムの中に本科目を位置づけています。

「保育教育職現場体験活動Ⅰ」（春学期）は、専門職の職務内容の基礎を理解するために、各分野について学科教員の講義と現職の講義を組み合わせ、授業を展開しました。各回の講義では、松江市立幼保園のぞ、松江市立乃木小学校、社会福祉施設みのりの家の先生方にご協力をいただき、専門職として働く意義や魅力をご講義いただきました。受講生からは、「子どもとの向き合い方や姿勢について理解できた」、「なによりも先生方が楽しんで仕事をしていることが伝わってきた」などの感想がありました。また、体験活動として島根県立松江養護学校高等部を訪問し、特別支援学校の授業や作業学習の様子の見学を通して、特別支援学校における授業の特徴、校舎設計への配慮や作業学習の意義等を学ぶことができました。翌週には、高等部3年生を大学に招待し、図画工作の授業を体験的に一緒に受講したり、キャンパスを案内したりして交流を図りました。本科目では、講義と体験・演習の往還を通じて、職業理解を深めることができました。

「保育教育職現場体験活動Ⅱ」（主に秋学期）では、現場観察として、島根県立出雲養護学校、松江市立乃木小学校、松江市立忌部小学校の3校を全受講生が1日ずつ参観しました。出雲養護学校では、高等部生徒に広い校舎を案内いただきながら作業学習を見学しました。昼食は食堂サービス班の調理した美味しい食事をいただき、午後には各クラスの授業に参加しました。終日見学することで、一日の学校の流れや児童生徒の様子、個に応じた指導の工夫等を理解することができました。「教員間のコミュニケーションが非常に丁寧で多く行われていた」、「視覚的に授業の見通しが立つような配慮、子どものやる気や行動を促す声掛け・指示の工夫があった」のように多くの発見がありました。また、乃木小学校と忌部小学校では、各クラスに一日を通して入り、教育活動を見学したり、休み時間に一緒に遊んだりしました。両校の規模の違いによる、学校・児童の雰囲気や授業の進め方の相違点などを比べながらの体験となりました。特に、コロナ禍で加速したICT教材を活用した授業には、多くの学生が驚くとともに、自身のスキルアップの必要性を確認できました。実際に学校を参観することで、今後の大学の授業へのモチベーションも高まりました。

本科目では上記の他、学生自らが現場体験ボランティア先を開拓し、相談・調整を行って、所定の時間のボランティア活動を行いました。主に、近隣の小学校や児童クラブ、幼稚園、保育所、こども園の他、子ども食堂やスポーツイベント等の補助スタッフとして各地で幅広く活動しました。時間に余裕をもって子どもたちと接することができ、先生方に多くの職務があることも理解する機会になりました。

近年、保育・教育職の養成課程では、上記のようなボランティア活動を大学在学中に体験することが求められています。近隣の保育・教育施設等に学生が出向き、子どもたちと交流することにより、子ども理解の基礎を培うとともに、専門職として働くうえで重要な保育者観・教職観等の涵養が期待できます。活動の多くは、本科目の趣旨をご理解いただき、コロナ禍で学生の活動を快く受け入れてくださった関係者の皆さまのご協力により成り立っています。改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域を知り考えるための教育

多文化共生論

地域文化学科教授 増原 善之 / 准教授 塩谷 もも

「多文化共生論」は、地域における多文化共生社会の現状や課題について学びながら、互いに多様性を認めあう社会をつくるために私たちはどうすればよいのか、ということを中心に考えていく科目です。

今年度は、しまね国際センターから講師をお招きし、2回にわたって「やさしい日本語」の実習を行うとともに、県内で実際に行われている取り組みを理解するため、松江市役所、松江西高等学校、イズモ・アグロブラジル、ブラジル・サポートセンター、島根モスク・イスラム文化センター（松江市）などで多文化共生に関わる活動をなさっている方々や県内在住の外国人の方々から直接お話を伺いました。

本科目の学びを通じて、学生たちは地域の課題を「自分事」として捉え、自身には何ができるのかを具体的に考えてくれるようになりました。一人でも多くの学生が、ここで学んだことを活かして地域社会に貢献できるよう、授業内容をさらに充実させていきたいと思えます。



島根を創る人づくり事業

観光まちづくり演習

地域文化学科准教授 竹田 茉耶

「観光まちづくり演習」は、地域に固有の景観や歴史、生業や生活文化を活かした観光まちづくりの取り組みを実践的に学び、地域資源の活用、生活と観光が共存・融合した持続可能な地域づくりの仕組みや手法について理解を深めることを目的とした科目です。

今年度は「手書きマップで深める木綿街街道 愛」と題して、手書きマップの作成に取り組みました。過去3年間の取り組みから、木綿街道には町並みの他にも伝統を受け継ぐ老舗の数々や、魅力的なまちの人、川と共にあった人々の暮らし、いまでも大切に受け継がれている生活文化など、伝えたい見どころがたくさんあると感じてきました。そこで、木綿街道のさまざまな「味わい」をマップにして紹介することで多くの人に木綿街道のことを知ってもらうことを目的にプロジェクトを企画しました。



Kids' English

地域文化学科准教授 ラング クリス

地域文化学科2年生の科目「Kids' English」では、本学の絵本専門図書室「おはなしレストランライブラリー」と連携して、地域の子ども達を対象に英語絵本の読み聞かせをするための準備と練習を行っています。

令和4年度は、10月から1月にかけて松江市立乃木小学校で1年生から6年生まで各クラスで朝の読み聞かせを行いました。読み聞かせをする学生は、担当する学年の児童が楽しめる本を選び練習を重ねました。朝の読み聞かせでは、電子黒板に絵本を大きく映し、児童に簡単な英語の質問をするなどのやりとりをしながら読み聞かせを行いました。

今後も、地域の皆様に喜んでいただけるような教育研究活動を進めていきたいと考えています。



読み聞かせの様子

大森まちなか図書館計画

図書館情報学ゼミ

地域文化学科准教授 木内 公一郎



大森まちなか図書館とは、世界遺産石見銀山のある大田市大森町に設置予定の図書館のことです。旧「松原邸」のなかに図書館、カフェ、コワーキングスペースを設置します。運営の主体は島根県立大学です。

図書館情報学ゼミとしては2020年6月から設立準備の一環として調査研究を行っています。大森町の概要、読書環境、観光と図書館をテーマにして文献調査を行い、旧「松原邸」の見学や町の観察調査を実施しました。その調査結果をもとにゼミで議論を行い、図書館のコンセプトを作成し、大学に提案しました。2021年度は「図書館資料収集方針」の策定作業を実施しています。

準備だけでなく開館後は図書館情報学ゼミも含め、県立大学3キャンパスの学生も運営に加わりま
 す。交流の場として市民、観光客、学生の交流が期待されています。また市民生活の支えになり、大森町の豊かな文化や自然を県内外の皆さんに伝えることができれば幸いです。開館は2023年春を予定しています。



地域を見つめる多様な研究

出雲の神話・伝承についての研究

地域文化学科准教授 山村 桃子

授業「古典文学Ⅰ(神話と伝説)」では、出雲神話と山陰各地に伝承される伝説についての講義を行っています。出雲地方には、出雲神話の舞台が多数みられます。また、神話、名所、歴史的人物に基づく伝説もあり、地域固有の事物や信仰にまつわる起源を説明するものとなっています。また、「古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)」では、歌謡を中心に『古事記』を読み、学生が演習発表を行って、歌謡の解釈を行いました。

令和4年度は、島根国際交流委員会が主催する、國學院大學、島根大学の学生や社会人が参加する出雲神話フォーラムに、本学の学生4名も参加しました。4回のワークショップと現地調査をふまえて、グループワークで出雲神話世界とその文化の魅力の発見と活用について考え、発表を行いました。

また、東出雲町しょうぶまつりフォーラムでは、東出雲町の伝説「大江美人(六日の菖蒲)」についての講演と、地域の方々との意見交換を行い、東出雲町を地元とする本学の学生、短大部の卒業生も参加しました。普段何気なく接している伝説も、その意味について改めて考えることで、地域の文化資源としての価値と、その活用方法を見出すことができるのではないかと思います。(写真：美人塚)



地域貢献推進奨励金事業

石見地方の伝統的建造物群保存地区の住居管理と瓦屋根景観

地域文化学科教授 藤居 由香

住居学に関わる科目「日本文化論(居住文化)」で扱うテーマの一つが「瓦屋根」です。瓦の考古学的研究は多くありますが、住居管理から瓦屋根景観を捉える研究はあまりみられません。

住宅の維持管理には様々な要素があり、建築的特性の差異に加え、敷地の抱える条件、行政施策の影響を受けます。さらに将来の増改築に対する施主の意向により、建築材料の選択傾向に違いがみられ、住宅そのものと瓦屋根景観が変容していきます。

近年は向学心旺盛な学生達に恵まれ、共に調査研究ができるようになり、令和3及び4年度に、本学の地域貢献推進奨励金事業により、文化財の保護と居住者の住宅維持の観点から、町並み景観が保全される文化庁選定の重要伝統的建造物群保存地区がある津和野町で、調査をしました。

昨年度は「伝統的建造物」と「文化財建造物」の管理の聞き取り調査と建造物の分布調査を実施し、学生達が防災の重要性を見出しました。そこで今年度は「防ぐ」に着目し防災と防犯をテーマとしました。

学生の瓦に付随する地域学習成果は、地域居住環境学研究室配属のゼミ学生が、InstagramID sekisyukawara1001にて発信しました。写真：津和野町内、文化庁名勝「堀庭園」にて紅葉狩り



海士町における民具の保存と利活用に関する研究

地域文化学科准教授 中野 洋平

松江キャンパス民俗学研究室では「海士町における民具の保存と利活用に関する研究」を進めています。「民具」とは、生活や生業で使用するため、自分たちで造ったり、購入したものを改造したりした道具類です。例えば鍬や鋤などの農具、作業着や行灯といった生活用具などです。

これら民具は、私たちの生活や生業の特徴、変遷を理解するための資料として、これまで博物館などで積極的に収集されてきました。しかし近年、予算や人手の不足から、収集した民具を整理したり、有効に活用したりすることが困難となり、倉庫の奥で大量に「死蔵」されていることが全国的な問題となっています。

島根県海士町も例外ではありません。同町南端にある崎地区ではこれまで住民有志により多くの民具が収集されましたが、その整理や今後の活用が課題となっています。そこで私たちは、海士町教育委員と協働で崎地区収集民具の整理調査を進めています。



地域の学校から学ぶ教職課程

地域文化学科准教授 古賀 洋一



現在、地域文化学科では2～4年生あわせて約35名の学生が、教員免許取得に向けた学びを進めています。教師としての力をつけるうえでは、大学での学びだけでは限界があります。理論だけでは掴めない生徒の実態や授業の工夫・意図については、学校現場からの学びが欠かせません。今年度も、教育実習や授業観察において、地域の学校に多大なご協力を賜りました。それ以外にも、教職課程では大きく3つの取り組みを行っています。

一つ目は、湖南中学校の放課後学習会へのボランティアです。最初は遠巻きに生徒を眺めていた学生も、回を経るごとに生徒との関わり方を学んでいきます。声のトーンや目線の合わせ方、身体の向かい合わせ方などは、生徒との生の関わりを経なければ掴むことはできません。

二つ目は、授業観察実習です。今年度は湖南中学校と松江商業高等学校にお世話になりました。生徒の学びの過程や実態、可能性についてはもちろん、目の前の生徒に合わせた教師の授業の工夫や、即興的な介入・判断についても学んでいきます。

三つ目は、教職実践演習での実地調査です。開星中学・高等学校と松江商業高等学校にお世話になりました。教科の授業はもちろん、「総合的な探究の時間」や、簿記などの商業高校に特徴的な授業についても、学ばせていただきました。

コロナ禍にも関わらず、学生の参加をお認めくださった関係の皆さまに改めて感謝いたします。学生が教師への夢を叶えられるよう、地域の学校との連携を維持・拡充し、さらに学びの場を充実させていきたいと考えています。

キッズランド・キッズシアター2022

学生の主体的な学びを目指して

保育学科教授 梶谷 朱美
准教授 渡邊 寛智 / 准教授 小林 美沙子

保育学科では、平成30年度より「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の授業（通年）を実施しています。この授業では、地域の乳幼児とその保護者を対象とした「キッズランド」「キッズシアター」の2つの取り組みを行っています。この授業では、“子どもたちのために創る”を大切に、学生が主体となって乳幼児向けの遊び場や表現活動をつくっていきます。実際に活動をする中で、子ども主体の保育のあり方とは何か、主体的に活動を進めていくことの大切さを学んでいきます。活動を通して学生一人ひとりが、保育内容を創り出す喜びを感じ、主体的に学ぶ姿勢が育つことを期待しています。この主体的に学ぶ姿勢は、本学を卒業後、保育者として専門性を高めていく際に必要となる大切な力です。

本年度は、短期大学部5期生である42名の1年生が活動を行いました。「キッズランド」は、10月23日（日）に島根県民会館で実施された子どもアートdayに参加し、活動を行いました。また、「キッズシアター」は、12月7日（土）に学内にて学内関係者の親子向けに発表を行いました。実際に親子と触れ合う中で、学生たちは乳幼児や保護者へのかかわり方、環境のつくり方等を学ぶことができました。COVID-19に配慮しながらの活動となりましたが、学生一人ひとりが子どもの笑顔を思い浮かべ、将来の保育者への道をいっばいっばい歩み始める活動となりました。



キッズランド



キッズシアター



島根県を対象にした卒業研究

島根県の民話に関する研究
- 生き物が出てくる話を中心に -

保育学科教授 渡辺 一弘

渡辺一弘ゼミでは、教育学、保育学、社会学、歴史学等の方法論を学び、それらの手法を用いて、子ども、保育、家族、社会等に関する各学生の興味のあるテーマについて、調査・研究を行います。

今年度の卒研ゼミ生7名の内、島根県をフィールドにした学生は1名で、島根県の民話の中で、生き物が出てくる内容のものを『さんいんの民話シリーズ ふるさとの民話』の出雲編、石見編、隠岐編、それぞれを分析資料として用いて、出雲・石見・隠岐地区で分けて分析・検討を行いました。検討の結果、彼女は、以下の様に考察しています。

- 先ず、出雲地区では神が出てくる話はほとんど無く、出雲大社があるがゆえに、神が簡単に話に出てくるような存在として扱われなかったのではと考えられる。これに対して、石見地方や隠岐地方では神が登場する話が多いのは土地神をまつる神社が多いなど身近だったからではないかと考えた。地蔵信仰の話も含めると、一番多いのは隠岐地方という結果になり、ここは他の2地方よりも信仰心が強いのではないかと考えられた。また、石見地方には大きな港があるため海産物が出てくる話が多くなっていった。これらは民話はその土地の特徴に影響されている証拠だと考えられ、出雲地方に大阪の鴻池が出てきたのは、物流などで関わりがあったからではないかと考えられる。具体的な生き物としては、河原スズメ（セキレイ）、昆布、猫を取り上げ、地域との関係性を検討した。 -

地域の民話を丹念に分析し、地域間の差や同質性をきちんと検証して行く作業は、地方公立短大生の卒業研究として、素晴らしいものであると考えられ、ここに紹介しました。

乃木こども食堂

地域の人たちとともに

保育学科教授 宮下 裕一

2022年7月から始まった「乃木こども食堂」。代表の安達和弘さんの呼びかけにより、子ども食堂の開始前に関心を持った学生（松江キャンパス・保育教育学科学生、出雲キャンパス・健康栄養学科学生、島根大学学生）が集まり、それぞれの子ども食堂への思いを模造紙に付箋を貼りながら共有することからスタートしました。この子ども食堂は、みんなの居場所であり、地域の人たちがつながる場を目指しており、学生は地域住民の方とともに参加しています。

2023年3月現在、学生は子どもたちとの食事は行っていませんが、その前後のレクリエーションなどを一緒に楽しんでいます。



画像提供:安達和弘氏



「こっそり畑」プロジェクト

島根県立松江農林高等学校との
高大連携活動

保育学科教授 梶谷 朱美 / 教授 宮下 裕一
准教授 小林 美沙子

保育学科では、令和3年度より島根県立松江農林高等学校と連携し、学生たちが農業をベースとした食育のスキルを身に付けることができる活動を行っています。このプロジェクトでは、「乳幼児とその保護者の生活が食を通して豊かになる」ために、①学生自身が農業体験を通して植物栽培の知識・技術を習得する、②乳幼児とその保護者向けの食育活動を計画・実施する、の2つの取り組みを行っています。

保育学科2年生は「幼児と環境」の授業で松江農林高等学校の曾田教諭から夏野菜の育て方を学内にある畑（こっそり畑）での実技を交えながら教わりました。また、保育学科2年生20名が松江農林高校の生徒14名と一緒に親子向けの食育イベントの計画・実施、親子向けの野菜の栽培パンフレットの作成を行いました。12月18日（日）に実施した親子向けの食育イベントでは、「おおきなかぶ」の劇、ほうれん草やカブのプランター栽培、学内畑での大根の収穫体験を親子と共に楽しみました。また、親子向けの野菜の栽培パンフレット「野菜によきによきブック」は、親子と一緒に野菜の栽培や収穫した野菜で料理を作り、楽しみながら食に親しむことができる内容を考えました。どちらの活動も学生と高校生が何度も話し合い、知恵を出し合いながら活動を進めていきました。

この活動を通し、地域の乳幼児とその保護者の生活が豊かになると共に、保育職を目指す学生や高校生が改めて保育職の良さに気づき、地域の子どもやその保護者を支える人材に育ってくれることを期待しています。



野菜の育て方を松江農林高校の先生から学ぶ



食育パンフレット「野菜によきによきブック」



親子向け食育イベント
「こっそり畑をつくろう！」



音楽研究室の取り組み

山陰地方に伝わるわらべうたの研究

保育学科准教授 渡邊 寛智

音楽研究室では、2年生が卒業研究で「山陰地方に伝わるわらべうたの研究」を行いました。元島根大学教授で民話・わらべうた研究の第一人者でいらっしゃる酒井董美先生にお越しいただき、音楽研究室の学生に山陰地方のわらべ歌について講話をしていただきました。山陰地方に伝わるわらべうたの種類やその違いについて、先生が過去から現在まで研究されてきた資料をもとに、わかりやすく解説をしてくださいました。好奇心旺盛な学生も、自分たちがこれまでに調べて疑問に感じていたことを先生に質問していました。先生は学生一人一人の質問に対して丁寧に回答してくださいました。学生たちはこの日の学びを忘れずに研究を続け、山陰地方に伝わるわらべうたを自分たちで歌い、なぜわらべうたが伝承されてきたのかを考察しました。今ではあまり歌われることのない山陰地方に伝わるわらべうたを、保育者として子どもたちに伝えたいと力強く語っていました。研究にご協力いただきました酒井先生、出雲かんべの里の皆様、本当にありがとうございました。



酒井先生のお話を熱心に聞く学生の様子



学生の質問に丁寧に対応してくださいました



酒井先生の本を参考文献として使用させていただきました



QRコードから「山陰地方に伝わるわらべうた」を聴くことができます、学生たちも利用させていただきました





地域の情報を発信する

情報応用

総合文化学科准教授 加藤 暢恵

情報応用では、地域の情報を発信する技術について学び、学んだ技術を用いて、自ら調査した情報を世界へ向けて発信する演習を行っています。具体的には、大学周辺に調査に出かけ、一般的に市販されている地図には記載されていない情報(自動販売機、街灯、公園の遊具など)を収集します。その後、収集した情報をもとに電子地図 (OpenStreetMap) の編集をします。これらの活動を通して、身近な地域の小さな情報に目を向け、地域を知ること、地元の情報を地元から発信することの意義について考えます。



Rubyプログラミング体験

プログラミング教育活動

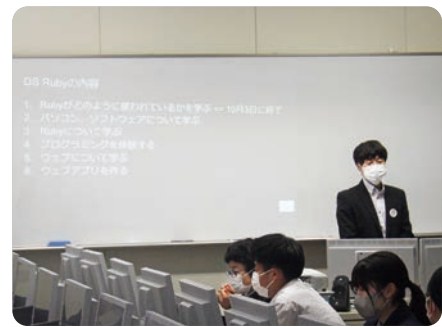
総合文化学科准教授 倉橋 徹

令和5年度より、「総合文化学科」は「文化情報学科」に名称が変わり、情報系科目の充実を図っています。それに先立ち、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校の松江南高校において、プログラミング言語 Ruby を体験する授業を行いました。

今回は、探求科学科1年生を対象に全5コマの授業を実施しました。最初に、Ruby のプログラムがどんなものかを見てもらいました。ほとんどの生徒は、初めて見る「意味不明な文字の羅列」に困惑している様子でしたが、そのプログラムを実行すると予想外にクオリティーの高いゲーム画面が表示され、そのギャップに歓声が上がりました。

続いて、ウェブアプリの作成に挑戦してもらいました。Ruby が世界中で利用されるようになった理由は、ウェブアプリを簡単に制作できるソフトウェア「Ruby on Rails」の出現です。ほんの数ステップの手順を踏むことで、ブログアプリを完成させることができました。

プログラミングを学ぶというのは、実際簡単ではありません。しかし、こういった小さな感動や成功体験によって IT やプログラミングに興味を持ち、自分でやってみようという気持ちが湧き上がってくると嬉しく思います。



フィールドワークの実践

総合文化研修Ⅰ

総合文化学科教員

事前学習となる「総合文化研修計画Ⅰ」で出雲市斐川町について調べ、「問い」を立てた各班は、「仮説」を検証するため、それぞれがアポイントを取り、インタビューにうかがいました。うかがった先は、班ごとに異なります。具体的には、万九千神社／来待ストーンミュージアム／草庵／松園／斐川町直江地区自治協会／直江コミュニティーセンター／農業組合法人おきす／斐川町給食センター／出雲村田製作所／出雲市立西野小学校／出西生姜組合／JAしまね斐川地区本部／出西窯／島根県物産観光館／objects／御井神社とさまざまです。

自分たちで立てた「問い」についての「仮説」は、あっけなく覆されることもあれば、思いのほか的を射ていることもありました。そして、何よりも、現地に行って直接お話をうかがうことは、書籍やWEBサイトから得た情報とは異なる刺激をもたらしました。最終報告会を経てまとめた最終レポートには、インタビューをとおして得た、驚きや感銘がたくさん記されることになりました。



ゼミ活動で地域に向き合う

総合文化ゼミナールII

総合文化学科教員

各研究室に配属されて行うゼミナール活動では、特定の地域の現状や課題に向き合って卒業研究を行うこともあります。本年度は「山王寺の棚田」をテーマにした研究などがあり、インタビューやフィールドワークを重ねて真摯に研究する姿が見られました。

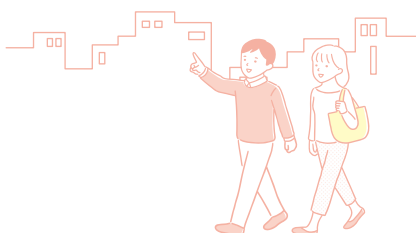
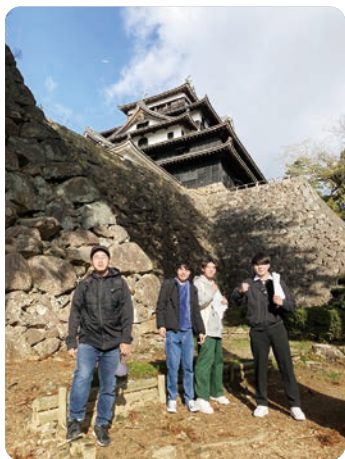


島根の魅力を英語で発信

文化とガイド

総合文化学科准教授 キッド ダスティン
(R4.10月～非常勤講師)

松江を中心に、山陰両県の観光スポットを英語で効果的に説明できるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や情報を学びながら、山陰の文化や歴史の知識を深めます。また、ガイド実践などを通して、実際のガイドに役立つレベルのコミュニケーション能力と英語の語彙・表現力を向上させます。



地域の文化を取材して紹介

文化情報誌制作

総合文化学科教授 山根 繁樹 / 講師 日高 正樹
非常勤講師 小倉 佳代子

総合文化プロジェクト科目群に属する文化情報誌制作では、山陰地域の小さな文化を探して取材し、小冊子の制作を行います。これは、2016年まで発行されていた「のんびり雲」の後継誌を作るものです。

まずは特集テーマとなるワード選び。2022年度のワードは「あゆむ」です。このワードから発想した、記事として紹介したいことをアイデアとして出し、企画を練ります。企画が通れば、取材対象にアポイントを取り、自分で取材をして記事を書き、写真とともに誌面レイアウトをします。その際には、2年春学期の授業「文化情報表現法」で培ったDTPの力を駆使します。

地域で活動されているさまざまな人とのかかわりをとおして、地域の文化に携わる方々の思いを感じる授業です。



教育機関との連携 (高大連携・中・小・幼・保)

No.	教員名など	相手方	内容	日付(期間)
1	川中 淳子(保育教育学科教授)	島根県立平田高等学校	1,2年生を対象に、「こころの健康を保つために必要なこと」をテーマとした保健講話を実施	令和4年5月24日
2	岩田 英作(地域文化学科教授)	島根県立松江南高等学校	SSH事業 未来創造リサーチ&アクション応用B課題研究ミニ検討会 指導・助言	令和4年6月6日
3	(本学学生)	島根県立松江商業高等学校	「1・2年生進路座談会」 学生1名(松江商業卒業生)が進路選択や学生生活について講話	令和4年6月8日
4	梶間 奈保(保育教育学科准教授) 牧瀬 翔麻(保育教育学科講師) 福井 一尊(保育教育学科准教授)	島根県立松江養護学校	「保育教育職現場体験活動I」の授業で、保育教育学科の1年生が実施。 (6/15)松江養護学校乃木校舎を訪問。 (6/22)松江養護学校高等部の生徒(20名)に学内施設案内、造形表現(美術)の授業体験を行った。	令和4年6月15日 令和4年6月22日
5	(事務部職員)	鳥取県立米子高等学校	1年生30名が来校。学部・学科説明、施設見学(3班)を実施	令和4年6月16日
6	岩田 英作(地域文化学科教授)	島根県立平田高等学校	3年総合的探究の時間で代表生徒の面接試験を想定したプレゼンテーションに、岩田ゼミ生14名、出雲C学生1名が試験官として質疑応答。話し方や資料について指導・助言を行った。※オンライン	令和4年6月17日
7	小林 美沙子(保育学科准教授)	島根県立平田高等学校	2年地域協働学習で保育士不足の課題に取り組んでいる生徒に、県内の保育士や子どもの現状などについて講話、指導・助言を実施	令和4年6月21日
8	(本学学生)	島根県立宍道高等学校	学生1名(宍道高校卒業生)が進路選択や学生生活について講話	令和4年6月28日
9	増原 善之(地域文化学科教授)	島根県立出雲高等学校	SSH事業 2年生普通科(文系)「課題研究活動」指導・助言	令和4年6月～ 令和5年3月
10	梶谷 朱美(保育学科教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	校内研究授業における指導・助言「保健体育科ダンス授業」(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	令和4年7月5日
11	(本学学生)	島根県立松江農林高等学校	「ようこそ先輩!」学生1名(松江農林高校卒業生)が大学生活や大学での学びの楽しさ、大変さなどについて講話	令和4年7月13日
12	(学生図書委員会、図書館司書)	島根県立松江商業高等学校 (高校図書委員)	図書を介した高校図書委員と松江キャンパス学生図書委員の交流 図書館内ツアー、おはなしレストランライブラリーツアー、題名入替ゲーム、請求記号ゲームなどを実施	令和4年7月13日 令和4年12月21日
13	高橋 泰道(保育教育学科教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	探究型授業テーマ発表会における指導・助言 (新型コロナウイルス感染拡大のため終業式が早まり中止)	令和4年7月14日
14	増原 善之(地域文化学科教授) 渡辺 一弘(保育学科教授) 今井 靖(高大連携担当学長補佐)	出雲、松江東、松江南、平田、 益田、矢上、隠岐島前の7校、 ほか鳥取の3校	「山陰探究サミット」 地域課題解決型学習(探究学習)の研究成果の発表に、審査員として参加	令和4年7月26日
15	梶谷 朱美(保育学科教授) 宮下 裕一(保育学科教授) 小林 美沙子(保育学科准教授)	島根県立松江農林高等学校	「こっそり畑プロジェクト」 農業体験をベースにした食育の知識や技術を持った保育者の養成を目指し、農業高校の生徒・教員と保育学科の学生・教員が交流 高校教師による農業についての授業、保育に興味のある高校生との交流活動を行い、12月18日には「こっそり畑親子体験イベント」を開催	令和4年5月12日 6月16日 7月11日 9月13日 (高校生15名のみで実施) 12月5日 12月18日
16	(おはなしレストランライブラリー司書)	島根県立松江養護学校 (乃木校舎高等部)	乳幼児の発達についての勉強(家庭科の授業)のため6～7名の生徒、教員1名が来校。 おはなしレストランライブラリーの見学、読み聞かせについての説明、絵本の選書などを実施	令和4年9月7日 9月14日 10月17日 10月24日
17	(保育教育学科)	松江市立乃木小学校	2年生4クラス8班(児童131名、引率教員8名)がクラスごとに「まちたんけん」の一環として大学訪問。学生延べ11名が施設案内。	令和4年9月20、 21日
18	岩田 英作(地域文化学科教授) 工藤 泰子(地域文化学科教授) 塩谷 もも(地域文化学科准教授) 小山 優子(保育教育学科教授) 時津 啓(保育教育学科教授) 福井 一尊(保育教育学科准教授)	島根県立松江東高等学校	1年生33名が「学問の魅力を探究しよう」の学習で来校。 (1)教員(5名)が学問の魅力や大学での学びについてお話 (2)教員(6名)・学生(18名)と高校生との交流会 (3)施設見学(18班)	令和4年9月20日
19	岸本 強(保育教育学科教授) 矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 前林 英貴(保育教育学科准教授) 工藤 泰子(地域文化学科教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	文系2年生19名「研究室訪問」 (1)生徒による「研究テーマについてのプレゼンテーション」に、指導・助言 (2)教員の専門分野についての説明	令和4年9月22日
20	梶間 奈保(保育教育学科准教授) 牧瀬 翔麻(保育教育学科講師)	島根県立出雲養護学校 (忌部小学校・乃木小学校)	「保育教育職現場体験活動II」の授業内で、保育教育学科の1年生43名が2グループに分かれ、1日(9/27または29)出雲養護学校を訪問し、学校見学や子どもとの関わり、教員との懇談を実施	令和4年9月27日 令和4年9月29日
21	倉橋 徹(総合文化学科准教授)	島根県立松江南高等学校	コンピューター言語「Ruby」に関する指導	令和4年10月11、 13、20、25日
22	(事務部職員)	島根県立飯南高等学校	2年生が来校。 学部・学科説明、施設見学(2班)、学生(飯南高校卒業生2名)との交流	令和4年10月12日

23	内山 仁志(保育教育学科准教授) 山村 桃子(地域文化学科准教授)	島根県立大田高等学校	1年生普通科96名 午前:大田高校にて講演、学部・学科案内 午後:松江、浜田キャンパスに移動して大学訪問(松江C50名来校) (1)模擬講義「文学(神話)」「保育学」に分かれて実施 (2)学生(大田高校卒業生2名)との交流 (3)施設見学(6班)	令和4年10月13日
24	(事務部職員)	島根県立大東高等学校	1・2年生41名が来校。 (1)松江、出雲キャンパスの学部・学科説明 (2)学生(大東高校卒業生4名)との交流 (3)施設見学(7班)	令和4年10月25日
25	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	3年生探求型授業「課題研究A」中間発表における指導・助言	令和4年10月25日
26	宮下 裕一(保育学科教授) (事務部職員)	島根県立松江農林高等学校	1年生総合学科12名(保育系希望者)が来校。 (1)松江キャンパス説明 (2)保育学科紹介、こっそり畑案内 (3)施設見学(2班)	令和4年10月27日
27	小柳 正司(地域文化学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	地域文化学科学生4年生が「教職実践演習」の授業の一環として開星 高等学校の公開教育研究会に参加	令和4年10月27日
28	岩田 英作(地域文化学科教授)	島根県立安来高等学校	「令和4年度図書館文化講座」	令和4年11月4日
29	杉 岳志(地域文化学科准教授) (事務部職員)	島根県立隠岐島前高等学校	普通科1年生51名、教員5名が来校。 学部・学科説明、施設見学、学生(6名)との交流	令和4年11月7日
30	小林 美沙子(保育学科准教授)	島根県立出雲高等学校	1年生PDGzセミナー【前期】講師	令和4年11月10日 12月8日
31	(おはなしレストランライブラリー司書)	島根県立松江養護学校	高等部生徒5名、教員4名が来校。学生1名の読み聞かせを実施	令和4年11月11日
32	高橋 泰道(保育教育学科教授) 山村 桃子(地域文化学科准教授)	島根県立三刀屋高等学校	2年生51名が来校。 (1)学部・学科説明 (2)施設見学(7班) (3)模擬講義「保育教育学科」23名「地域文化学科」28名に分かれて 実施	令和4年11月16日
33	(事務部職員)	学校法人永島学園 松江西高等学校	2年生20名が来校。学部・学科説明、施設見学(4班)を実施	令和4年12月13日
34	福井 一尊(保育教育学科准教授) 杉 岳志(地域文化学科准教授)	島根県立大田高等学校	2年生30名が来校。 (1)模擬講義「保育教育学科」13名「地域文化学科」17名に分かれて 実施 (2)学生(6名)との交流 (3)施設見学(6班)	令和4年12月12日
35	高橋 泰道(保育教育学科教授)	奥出雲町立横田小学校	小学校6年理科「電気の利用」プログラミングの出前授業	令和5年1月19日
36	西村 健一(保育教育学科准教授)	島根県立出雲養護学校	出雲養護学校高等部 地域サービス班6名、教員3名が来校。 (1)施設見学(学生5名が対応) (2)保育教育学科1・2年生の「肢体不自由児指導論」(71名受講)の授 業の一環として、生徒と作業作品やコーヒーの販売活動を実施	令和5年1月31日
37	岩田 英作(地域文化学科教授) 日高 正樹(総合文化学科講師) 藤 翔平(保育学科助教)	島根県立松江南高等学校	1年生普通・探求科学学科「未来創造リサーチ&アクション・プログラ ム基礎」発表会の講評	令和5年1月31日
38	倉橋 徹(総合文化学科准教授) 高須 佳奈(浜田C基礎教養部准教授)	島根教育委員会	「しまね探求フェスタ」 島根県の高校生の探求学習の発表や振り返りプログラムに対して、 「サポーター」としてアドバイスや励ましなどを実施	令和5年2月3日
39	(おはなしレストランライブラリー司書)	島根県立松江緑が丘養護学校	松江緑が丘養護学校高等部生徒3名、教員2名来校。 学生1名の読み聞かせやライブラリーの活動体験を実施	令和5年2月3日
40	今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県高等学校総合学科協 議会	「島根県総合学科発表会」 総合学科を設置する県立高校(松江農林、三刀屋、遼摩、益田翔陽)の 生徒の課題研究発表の審査員として参加	令和5年2月8日
41	今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県立松江北高等学校	2年生理科39名 課題研究発表会審査	令和5年2月9日
42	(おはなしレストランライブラリー司書)	島根県立遼摩高等学校	2年生9名(生活系列保育モデル)来校。 おはなしレストランの見学、年齢にあわせた絵本の選び方や読み聞か せの指導、実演を実施。学生2名講師として参加	令和5年2月27日
43	高橋 泰道(保育教育学科教授)	松江市立乃木小学校	6年理科「電気の利用」プログラミング授業に関わる指導・支援	令和5年2月28日
44	(事務部職員)	学校法人 翔英学園 米子北高等学校	2年生19名が来校。学部・学科説明(松江・出雲・浜田)、学生(5名)と の交流、施設見学(5班)を実施	令和5年3月7日
45	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	高校1・2年生、中学生参加の探求型授業発表会における指導・助言	令和5年3月10日
46	山根 繁樹(総合文化学科教授)	島根県立出雲高等学校	1年生PDGzセミナー【後期】講師	令和5年3月14日
47	高橋 泰道(保育教育学科教授)	松江市立義務教育学校玉湯 学園	6年理科「電気の利用」プログラミングの出前授業	令和5年3月14日、 15日
48	(本学学生・事務部職員)	島根県立松江東高等学校	1年生「地域共創トークフォークダンスin東高」 高校生と大人がペアを組み、相手を変えながら自由に対話	令和5年3月17日

授業における連携 (ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等)

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等
保育教育	表現研究(児童文化)Ⅰ	矢島毅昌准教授/福井一尊准教授	NPO法人あしひえ
	言葉研究(読み聞かせ実践)	中井悠加准教授	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
	保育教育職現場体験活動Ⅰ・Ⅱ	梶間奈保准教授/牧瀬翔麻講師	島根県立松江養護学校/島根県立出雲養護学校/松江市立乃木小学校/松江市立忌部小学校/松江市立幼保園のぎ/社会福祉法人山陰家庭学院放課後等デイサービス事業所みのりの家
	キャリアプランニング	保育教育学科教員	松江市役所/島根トヨタグループ/株式会社イーウェル/株式会社島根人材育成/株式会社DISCO/ジョブカフェしまね/ハローワーク
	社会的養護内容	藤原映久教授	松江地区里親会
	初等音楽科教育法	梶間奈保准教授	「こころ音」雅楽会
	肢体不自由児指導論	西村健一准教授	リコージャパン株式会社松江事業所/NPO法人MeRISE
	障害児保育	西村健一准教授	松江市こども家庭支援課/株式会社トレンド
	視覚障害児教育総論	内山仁志准教授	島根県立盲学校
地域文化	インターンシップ	岩田英作教授	ジョブカフェしまね
	地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	小泉凡本学名誉教授	小泉八雲記念館
	しまね文学探訪	岩田英作教授	小泉八雲記念館/斎藤茂吉鴨山記念館(美郷町)/森鷗外記念館(津和野町)
	しまねのまちづくり	藤居由香教授	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所/出雲市都市建設部/斐伊川放水路事業記念館/農林水産省中国四国農政局島根県拠点
	しまねのまちづくりと地域資源	藤居由香教授	奥出雲町役場建設課農林土木グループ/鬼の舌震恋吊り橋/絲原記念館
	しまね民俗探訪	中野洋平准教授	美保関歴史・生活体験資料館
	Kids' English	ラング・クリス准教授	松江市立乃木小学校
地域文化/総合文化	読み聞かせの実践	岩田裕子非常勤講師/尾崎智子司書/内田絢子司書	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
地域文化	観光と地域	工藤泰子教授/竹田茉耶准教授	中村茶舗/有限会社いやタクシー・東出雲観光バス
	観光まちづくり演習	竹田茉耶准教授	一般社団法人木綿街道振興会
	多文化共生論	増原善之教授/塩谷もも准教授	松江市役所/しまね国際センター/松江西高等学校/イズモ・アグロブラジル/ブラジル・サポートセンター/島根モスク・イスラム文化センター
	地域居住環境学概論	藤居由香教授	島根県庁雇用政策課/島根県警
	日本文化論Ⅰ(居住文化)	藤居由香教授	境海上保安部/美保関灯台/美保関青石畳通り/美保神社
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ(地域居住環境学ゼミ)	藤居由香教授	津和野警察署/一般社団法人津和野まちづくり/津和野町郷土館/津和野伝統的建造物群保存地区/津和野カトリック教会/名勝堀庭園/旧畑迫医院/太鼓谷稲荷神社
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ(観光文化ゼミ)	工藤泰子教授	奥出雲町観光協会/ダムの見える牧場/田部美術館

地域文化	地域文化プロジェクトI・II (日本史ゼミ)	杉岳志准教授	清水寺／島根県立古代出雲歴史博物館
	地域文化プロジェクトI・II (国語教育学ゼミ)	古賀洋一准教授	松江市立湖南中学校
	地域文化プロジェクトI・II (古典文学ゼミ)	山村桃子准教授	八雲立つ風土記の丘
	地域文化プロジェクトI (民俗学ゼミ)	中野洋平准教授	海士町教育委員会／美保関歴史・生活体験活動推進協議会
	教職実践演習	小柳正司教授／古賀洋一准教授	島根県立松江商業高等学校／開星中学・高等学校
保育	保育者論	渡辺一弘教授	おはなしレストランライブラリー：内田絢子司書、尾崎智子司書
	幼児と環境	小林美沙子准教授	島根県立松江農林高等学校：曾田教諭
	保育内容・環境の指導法	小林美沙子准教授	「食育に関する保育実践」講話：山尾淳子氏
	保育内容演習I・II	梶谷朱美教授／渡邊寛智准教授／小林美沙子准教授	島根県民会館(子どもアートday)
	卒業研究	梶谷朱美教授	松江市立幼保園のぎ／山陰中央テレビジョン放送株式会社・株式会社メディアスコープ・株式会社こころプラス
	保育教職実践演習	渡辺一弘教授／梶谷朱美教授／渡邊寛智准教授／小林美沙子准教授	講話：雲南市立木次こども園長 阿川恵美氏 松江市立揖屋保育園／上口福祉会なかよし保育園／チャイルド福祉会運動公園前保育所チャイルド
総合文化	インターンシップ	総合文化学科教員	ジョブカフェしまね
	へるん探求	小泉凡本学名誉教授／松浦雄二教授 (地域文化学科)	出雲大社／小泉八雲記念館
	文化とガイド	キッド・ダスティン准教授(R4.9月退職)	松江城／玉造温泉／八重垣神社／熊野大社／木綿街道／由志園／千鳥そば／くつろぎ和かふゑ 甘右衛門／寺子屋本舗出雲大社店／Green's Baby／ミートショップきたがき／八雲庵／ラーメン一刻(安来店)／道の駅あらエッサ／SHERIE CAFE／udon dining cafe安菜蔵／KARLY matsue／珈琲店蒼／cafe LEON／Le CochonD'or Shussai／BSKK／喫茶ラフ `ラフ`
	総合文化研修計画I／総合文化研修I	総合文化学科教員	万九千神社／来待ストーンミュージアム／草庵／松園／斐川町直江地区自治協会／直江コミュニティーセンター／農業組合法人おさず／斐川町給食センター／出雲市文化国際室／出雲村田製作所／出雲市立西野小学校／出西生姜組合／JAしまね斐川地区本部／株式会社出西／島根県物産観光館／objects／御井神社／御井神社剣舞保存会
	文化情報誌制作	山根繁樹教授／日高正樹講師／小倉佳代子非常勤講師	小泉八雲記念館／いちごの木△／いまみや工房／元町通り商店街振興組合／HIBOHARA農園／ankuru／島根ハーネスの会(会長三輪利春)／松江市国際観光課／巨人のシチューハウス
	総合文化ゼミナールII	総合文化学科教員	山王寺の棚田／Yu-na
保育／総合文化	キャリア・プランニング	保育学科教員／総合文化学科教員	松江市役所／東京靴株式会社／モルツウェル株式会社／島根トヨタグループ／株式会社イーウェル／しまね女性センター／株式会社島根人材育成／株式会社DISCO／ジョブカフェしまね／島根県中小企業家同友会／ハローワーク(順不同)

地域志向研究活動一覧 (平成30～令和4年度)

学科	申請(開始)年度	終了年度/継続中	研究タイトル<研究年度> ▶研究助成等	学内研究者名(役職名はR4年度現在) 連携研究者(機関・協力者等)
保育教育学科	R3	～	益田市版保幼小接続カリキュラムを活用した幼小接続の取組 ▶益田市と島根県立大学の共同研究事業	高橋泰道教授/矢島毅昌准教授 益田市教育委員会
	R4	R4	学校での体験活動とこころの成長-魅力ある学級づくりのために- ▶益田市と島根県立大学の共同研究事業	川中淳子教授 益田市教育委員会
	R1	～	児童養護施設を対象とした継続的な研修の実施 ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(浜田児童相談所)/児童養護施設 聖煌寮
	H29	～	里親向け養育支援研修会に関する実践研究 ▶学術教育研究特別助成金(個人研究) ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(中央児童相談所)/松江地区里親会
	H27	～	児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実施 ▶学術教育研究特別助成金研究(個人研究) ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(中央児童相談所)/児童養護施設安来学園
	H30	R1	放課後等デイサービスを利用する子どもたちの状況とニーズに関する調査 ▶教員個人研究費	藤原映久教授 松江市内の放課後等デイサービス
	R3	～	「ひらがな読み早期改善プログラム事業」 ▶受託研究	内山仁志准教授 出雲市教育委員会
	R2	～	「小学校1年生の文字を読む力を育むための取組～読字困難児の発見とアセスメントに応じた音読指導～」「デジタル教材を活用した音読支援」 ▶しまね地域国際研究、科学研究費補助金(基盤C)	内山仁志准教授 益田市教育委員会
	R2	～	テレプレゼンスロボットによる特別支援教育力向上の取り組み～島根県立大学×益田市プロジェクト～ ▶北東アジア地域学術交流研究助成金	西村健一准教授 益田市教育委員会/NTTドコモ/RICOH/読書工房
	H30	～	柔道の道場に在籍する「特別な配慮を要する児童生徒(発達障害等を含む)」の実態と支援に関する調査 ▶教員個人研究費	西村健一准教授
	R1	R1	ICTを活用した特別支援教育力向上の取り組み～島根県立大学×隠岐(OKI)の島プロジェクト～ ▶北東アジア地域学術交流研究助成金	西村健一准教授 隠岐の島町教育委員会/沖ワークウェル
	H30	H30	海外における障害者(児)の柔道支援の実態について～国際交流の現場における調査～ ▶学術教育研究特別助成金研究	西村健一准教授
	H30	H30	図画工作科における身体性の可視化がもたらす教育効果の研究 ▶学術教育研究特別助成金(個人研究)	福井一尊准教授 岡山県
H30	H30	地域資源の探究・保存・継承を通じた初等教育の理論と実践に関する研究 ▶学術教育研究特別助成金(共同研究)	矢島毅昌准教授/福井一尊准教授 キッドダスティン准教授(R4.9退職)	
地域文化学科	H28	R1	戦後松江における観光行政の展開 ▶科学研究費補助金・基盤研究C	工藤泰子教授 松江史料編纂室
	R3	～	住居管理から検討する伝統的建造物群保存地区の町並み景観の地域性継承 ▶地域貢献推進奨励金	藤居由香教授 一般社団法人津和野まちづくり
	H26	～	島根県の歴史的町並み景観と住宅の維持保全に関する研究 ▶教員個人研究費	藤居由香教授
	R4	～	近代島根歌壇の研究―恒藤恭の短歌関連資料と山陰「明星」歌人資料を活用して― ▶科学研究費補助金・基盤研究C	山村桃子准教授 奥野久美子(大阪市立大学文学部准教授)、岩田英作教授、寺本喜徳(島根県立女子短期大学名誉教授)、北井由香(松江キャンパス図書館)ほか

	R3	～	〈山陰『明星』歌人資料〉デジタルアーカイブ作成と公開及びその研究 ▶学長裁量経費(若手支援枠)	山村桃子准教授 同上
	H27	～	島根県における伝説の研究 ▶教員個人研究費	山村桃子准教授
	R2	～	学校司書との「高次の協働」を通した国語科教師の学び ▶科学研究費補助金・若手研究	古賀洋一准教授 開星中学・高等学校
	R1	～	山陰の緋に関する研究 ▶教員個人研究費	塩谷もも准教授
	R1	～	島根半島における当屋交代儀礼(ヨメノイ神事)の研究 ▶教員個人研究費	中野洋平准教授 公益財団法人いづも財団
	R1	～	松江市島根町における伝承地名に関する研究 ▶受託研究	中野洋平准教授 島根地域まちづくり協議会
	R1	～	海士町における民具の保存と利活用に関する研究 ▶しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金	中野洋平准教授 海士町教育委員会
	H30	～	出雲神楽の研究 ▶島根県古代文化センターテーマ研究	中野洋平准教授 島根県古代文化センター
	H30	H30	隠岐における道家神楽の再検討 ▶学術教育研究特別助成金(個人研究)	中野洋平准教授
	H30	H30	加賀旧潜戸における糞の河原霊場形成に関する研究 ▶教員個人研究費	中野洋平准教授
	H30	H30	民俗学による地域理解と地域志向教育 ▶教員個人研究費	中野洋平准教授
	R1	R1	松江市学校図書館政策の形成過程 ▶学長裁量経費(若手支援枠)	木内公一郎准教授 石井大輔准教授(R2.3退職)
	H30	H30	鳥取県学校司書配置政策に関する研究 ▶教員個人研究費	木内公一郎准教授
	H30	H30	観光まちづくりの担い手組織のあり方に関する研究 ▶教員個人研究費	竹田茉莉准教授
保育学科	R2	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子准教授
	R1	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子准教授 /小山優子教授(保育教育学科)
	H30	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築 ▶学術教育研究特別助成金(共同研究)	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小山優子教授(保育教育学科)/中井悠加准教授(保育教育学科)
	R2	～	保育者の資質向上のための研修プログラムの開発 —学生と保育者のための運動遊びハンドブックの事例を活用して— ▶学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授 雲南市教育委員会/雲南市子ども政策局/雲南市身体教育医学研究所うんなん/雲南市内18幼稚園・保育所(園)・認定こども園/雲南市子ども政策局子ども政策課 藤原洋子/雲南市身体教育医学研究所うんなん 西川喜久子/のぞみ保育設計研究所長 野津道代
	H30	～	運動遊びにおけるプレーリーダーとしての保育者の役割についての研究～雲南市立幼稚園・保育所(園)・認定こども園の実践を中心として～ ▶学術教育研究特別助成金(個人研究)	
	R1	～	幼稚園と小学校との円滑な接続のあり方に関する研究 ▶教員個人研究費	梶谷朱美教授 雲南市立寺領幼稚園
	H30	～	中学校保健体育教員を対象にしたダンス指導の研修プログラム開発～教材理解の促進に焦点をあてて～ ▶スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根大学教授 廣兼志保/島根県教育庁保健体育課指導主事 吾郷修治
	R3	～	幼児期の体力・運動能力調査の方法と活用に関する研究 ▶島根を創る人づくり事業	梶谷朱美教授 雲南市身体教育医学研究所うんなん/山陰中央テレビジョン放送株式会社/株式会社メディアスコープ/株式会社こころプラス
	R3	～	小学校体育科表現リズム遊び・表現運動領域指導力向上に係る研究 ▶スポーツ庁令和の日本型学校体育構築支援事業	梶谷朱美教授 益田市教育研究会保健体育部会(小学校)

地域連携（貢献）活動の取組状況

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容（テーマ等）	
保育教育学科	1	岸本 強（教授）	委員	島根県	文部科学省及び島根県が実施する表彰（スポーツ奨励賞）に推薦する候補者の選考委員	
	2	齊藤 一弥（教授）	講演会講師等	大田市教育委員会	研究校（しまねの学力育成プロジェクト）の職員を対象として、授業改善（能力ベースの授業づくり）についての研修会講師（大田市立大田小学校・第一中学校）	
	3			大田市における授業改善（能力ベースの授業づくり）の取組みに係る学校訪問指導の講師（大田市立北三瓶小学校・鳥井小学校・朝波小学校・北三瓶中学校）		
	4			大田市の学力育成に向けた、授業改善（能力ベースの授業づくり）についての研修会講師（大田市立北三瓶小学校・大森小学校・志学小学校・志学中学校・第一中学校）		
	5			雲南市教育委員会	雲南市小中学校教職員を対象とする算数・数学科の師範授業と講演会講師（雲南市立大東小学校・雲南市立大東中学校）	
	6			島根県教育センター	県内小学校教諭を対象とした小学校算数教科教育講座の講師	
	7			津和野町立木部小学校	授業づくり研修会講師	
	8			津和野町立津和野小学校	授業づくり・学校経営研修会講師（津和野町小中学校研修を兼ねる）	
	9			委員	松江市	松江市学力育成協議会委員
	10	津和野町教育委員会	津和野町架け橋期のカリキュラム開発会議委員			
	11	園山 繁樹（教授）	講演会講師等	島根県高等学校分校・定通教育研究会	会員を対象とした講演会の講師「高等学校における特別支援教育～生徒一人一人の可能性を引き出す高校教育～」	
	12			島根県立松江養護学校	教員を対象とした研修会の講師「応用行動分析の基礎・基本」	
	13			島根県教育委員会	令和4年度特別支援学校授業力向上事業による隠岐養護学校、益田養護学校公開授業の講義及び助言指導	
	14			島根県教育センター	島根県相談スタッフを対象とした事例研究会における指導・助言	
	15				通級による指導担当教員等研修会の講師「場面緘黙の子どものライフステージに応じた通級による指導」	
	16				特別支援学級担任スキルアップ研修会の講師「子どもの理解とかかわり～実態把握と支援方法～」	
	17			島根県立宍道高等学校	教職員を対象として開催する研修会の講師「場面緘黙の理解と支援」	
	18			委員	松江市	松江市専門巡回相談員
	19		社会福祉法人十神 やすぎ保育園	2歳児の個別の保育支援についての指導講師		
	20	高橋 泰道（教授）	講師	出雲市教育研究会メディア教育部	出雲市教育研究会メディア教育部夏季研修会の講師「ICTを活用した授業の在り方」	
	21			出雲市幼稚園教育研究会	出雲市幼稚園教育研究会の会員を対象とした講演会の講師「これまでの幼小接続とこれからの幼児教育のあり方」	
	22			益田市保育研究会	益田市保育研究会環境部会研修会の講演講師「保幼小架け橋プログラムに向けた10の姿でつなぐこれからの幼児教育のあり方」	
	23			安来市教育研究会生活科部	部員を対象とした研修会の講師「幼小接続と子どもの見取りと評価」	
	24			委員	安来市教育研究会メディア教育部	安来市ICT活用教育推進指定校事業スーパーバイザー
	25			松江市	学校運営協議会委員（松江市立乃木小学校）	
	26			松江市	松江市学力育成協議会会長	
	27			島根県教育委員会	島根県教育職員育成指標協議会委員	
	28			津和野町教育委員会	津和野町架け橋期のカリキュラム開発会議委員	
	29				津和野町教育ビジョン策定委員会委員	
	30			藤原 映久（教授）	講師	島根県（青少年家庭課）
	31	島根県（青少年家庭課）	児童福祉司任用前講習会・任用後研修会講師「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」			
	32	松江市保育研究会	松江市保育所（園）認定こども園の保育士等を対象としたキャリアアップ研修の講師「保護者支援・子育て支援：児童虐待予防」			
	33	安来市学校保健会	安来市学校保健会関係者を対象とした講演会の講師「児童虐待について：“定義と現状”及び“子どもと保護者の理解”から“支援”まで」講演動画のオンデマンド配信			
	34	委員	島根県（青少年家庭課）			里親委託促進等検討会議委員
	35	島根県社会福祉協議会	評議員会委員			
	36	松江市	要保護児童対策協議会スーパーバイザー（下記会議に12回程度参加）代表者会議、実務者会議、課内研修			
	37	社会福祉法人三隅愛育会 児童養護施設 聖喙寮	児童養護施設「聖喙寮」におけるスーパーバイザー（職員研修の実施等）			
	38		松江赤十字乳児院	松江赤十字乳児院サービス向上委員会委員（松江赤十字乳児院を利用する方からの苦情等に対し、解決のための相談及びアドバイス）		

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容(テーマ等)
	39			社会福祉法人 つわぶき	評議員選任・解任委員
	40		その他	くらたこどもクリニック	心理相談員(発達障害・子育て・不登校等の相談対応)
	41	時津 啓(教授)	委員	奥出雲町	奥出雲町子ども・子育て会議委員長
	42	小山 優子(教授)	講師	松江市子育て政策課	松江市幼稚園・保育所・認定こども園等の職員を対象とした研修会講師
	43			大田市子ども保育課	公立幼保研修会の講師「幼保連携型認定こども園を始めるための心構えについて」
	44		委員	島根県	島根県子ども・子育て支援推進会議委員
	45			松江市	松江市保育所等の施設整備検討会委員
	46				松江市公の施設指定管理者選定審議会委員
	47				松江市保育所等施設整備審査委員
	48			大田市	大田市子ども・子育て支援推進会議 委員
	49	川中 淳子(教授)	委員	島根県	島根県総合教育審議会 副会長 島根県私立学校審議会 委員
	50				
	51		その他	島根県教育委員会	島根県公立学校スクールカウンセラー
	52			島根県	「新型コロナウイルス感染症に対応する社会福祉施設等職員のためのメンタルヘルズ相談」にかかる電話相談員
	53			ブラインドサッカーチーム「島根オロチビート浜田」	ブラインドサッカーイベント(令和5年3月11日)実行委員
	54	内山 仁志(准教授)	講師	島根県立隠岐養護学校	令和4年度第2回特別支援教育研修会の講師「読み書きに困り感のある子どもの支援～音読評価後の支援の実際～」
	55			益田市教育委員会	令和4年度特別支援教育支援員、日本語支援員を対象とした研修会の講師「アセスメントの方法」「アセスメント後の支援方法について」
	56			島根県立大田高等学校	高校の大学研修における講演会の講師「しょうがいって何だろう？」
	57		委員	益田市	益田市相談支援チーム・スーパー相談員
	58	梶間 奈保(准教授)	講師	松江市子育て政策課	松江市幼稚園・保育所・認定こども園等の職員を対象とした研修会講師
	59			松江市立城西幼稚園	松江市立幼稚園教員「音楽表現を楽しむ心を育てる」部会の研修会講師
	60	西村 健一(准教授)	講師	松江市こども家庭支援課	子育て中の保護者、子育て支援者等を対象とする子育て学習会講師「発達を促すかわり方～子どものからだところの成長を促すためのヒントは?～」
	61				発達相談についての助言指導(個別相談・ペアレントミーティング)
	62			島根県スポーツ協会	島根県内スポーツ指導者を対象とした研修会の講師
	63			島根県障害者スポーツ協会	島根県障がい者スポーツ指導員養成研修会の講師「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」
	64		委員	島根県	島根県教育支援委員会委員
	65			島根県立出雲養護学校	いずよう(出雲養護学校)魅力化協議会委員
	66			島根県立松江ろう学校	学校評議員
	67			益田市	益田市相談支援チーム・スーパー相談員
	68			島根県障害者スポーツ協会	障がい者スポーツ活動支援助成金の審査会委員
	69	前林 英貴(准教授)	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和4年度保育士等キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】講師 「保健計画の作成と活用」「事故防止および健康安全管理」「保育の場における事故防止および対応のためのガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育の場における血液を介した感染予防」
	70			島根県(青少年家庭課)	児童相談所・市町村職員等専門研修会 要対協調整担当者研修・児童福祉司任用前講習会講師 「子どもの成長・発達と生育環境」
	71			社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和4年度保育士就職・お仕事応援セミナー講師 Aコース「理解と応急手当」(配慮を要する子どもの理解、非常事態に備える～応急手当～)
	72			松江市立湖南中学校PTA	人権講習会講師「人を分けるものってなんだろう？」
	73			松江市立白濁保育所	職員研修(医療的ケア児)講師「医療的ケアって何?まずは知ることから始めよう!」
	74		委員	島根県立松江緑が丘養護学校	松江緑が丘養護 学校運営協議会委員
	75	矢島 毅昌(准教授)	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和4年度保育士等キャリアアップ研修 【幼児教育】「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育の内容」「指導計画、記録および評価」(浜田会場)講師 【保育実践】「保育における環境構成」(松江会場・浜田会場)講師
	76		委員	島根県保育者養成校連絡協議会	保育者確保・定着研究ワーキンググループリーダー
	77	福井 一尊(准教授)	審議会委員等	島根県	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会審査会 審査委員長
	78			島根県障がい者文化芸術活動支援センター アートベースしまねいろ	島根県障がい者アート作品展 審査会 審査委員長
	79			島根県障がい者文化芸術活動支援センター	「にぎやかな日々島根県民会館」(インクルーシブ鑑賞支援事業)実行委員会 委員

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容(テーマ等)
	80			松江市	松江市保育研究会造形表現部会顧問
	81			島根県	島根県景観審議会委員
	82			島根県	島根県障がい者文化芸術活動推進連絡協議会会長
	83			益田市	益田市子ども・子育て会議委員
	84			島根県児童養護施設協議会	第41回児童文化奨励絵画展 予備審査の審査員長
	85			島根県障がい者文化芸術活動支援センター	障がい者の芸術文化活動支援に関する検討を行う協議会の非常勤委員
	86			島根県保育者養成校連絡協議会	保育者養成教育研究ワーキンググループ
地域文化学科	87	岩田 英作(教授)	講師	松江市立やくも保育園	職員を対象した研修会の講師
	88			今井書店TONOMACHI63	地域の方を対象とした文学講座の講師
	89		委員	松江市	松江市総合計画・総合戦略推進会議委員
	90				松江市総合計画審議会委員
	91			島根県	島根県子ども読書活動推進会議委員
	92				学校運営協議会委員
	93			島根県立松江南高等学校	松江南高校魅力化コンソーシアム委員 (7/16令和3年度第1回松江南高校魅力化コンソーシアム)
	94			出雲市	出雲市立図書館協議会委員
	95	工藤 泰子(教授)	委員	松江市	松江歴史館運営協議会委員
	96			雲南市	道の駅活性化ビジョン作成業務選定委員会委員長
	97				雲南市観光振興会議副会長
	98			島根県立松江商業高等学校	学校評議員 高校魅力化コンソーシアム役員
	99			松江ツーリズム研究会基金	松江ツーリズム研究会観光大賞選考委員
	100	松浦 雄二(教授)	講師	松江市立中央図書館	定期講座「小泉八雲に学び・親しむ」講師
	101	マユー あぎ(教授)	委員	島根県	島根県個人情報保護審査会委員
	102				島根県情報公開審査会委員
	103			公営財団法人島根県育英会	理事
	104	藤居 由香(教授)	委員	島根県	島根県建設工事紛争審査会委員
	105				島根県消費生活審議会委員
	106				しまね景観賞審査委員会委員
107			松江市	松江市都市計画審議会会長	
108				松江市歴史まちづくり推進協議会委員	
109			公的団体	境港管理組合地方港湾審議会委員	
110	木内 公一郎(准教授)	委員	島根県	島根県立図書館協議会審議委員	
111			松江市	松江市立図書館協議会委員	
112	塩谷 もも(准教授)	委員	松江市	松江市行財政改革推進委員	
113			公益財団法人しまね国際センター	「世界とつながる島根づくり助成金」運営委員	
114	杉 岳志(准教授)	委員	松江市	松江歴史館運営協議会委員	
115	中野 洋平(准教授)	委員	島根県教育委員会	島根県古代文化センター客員研究員	
116			まつえ市民大学	運営協議会委員	
117			島根県	島根県景観審議会委員	
118	山村 桃子(准教授)	講師	松江市東出雲公民館	市民を対象として開催する美人塚・花しょうぶ祭りのフォーラムの講師「六日の菖蒲」考一大江美人伝説から	
119			山陰中央新報社文化センター 出雲教室・松江教室	講座「源氏物語を読む」の講師	
120			まつえ市民大学	「ふるさと発見コース」の講師「八岐大蛇が辿ってきた道」	
121			今井書店TONOMACHI63	地域の方を対象とした文学講座の講師「春はあけぼの『枕草子』の色・音・光」	
122		委員	島根県	島根県立八雲立つ風土記の丘指定管理者選定委員会委員	
123				島根県古代文化センター企画運営委員会委員	
124			松江市	松江市個人情報保護審議会委員	
125		その他	島根県教育庁文化財課	「出雲国風土記 校訂・注釈編」への原稿執筆「『出雲国風土記』の神話の性格」	
126			島根国際交流委員会	出雲神話フォーラム ワークショップへの参加	

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容（テーマ等）	
保育学科	127	梶谷 朱美（教授）	講演会講師等	島根県教育センター	島根県教育センター研修：第Ⅱ回新規採用幼稚園教諭研修 保育技術1（運動遊び）講師	
	128			島根県（保健体育課）	児童、生徒、保護者、教職員を対象とした健康教室の講師（出雲市立朝山幼稚園、出雲市立湖陵幼稚園、出雲市西田地区青少年育成協議会）	
	129				島根県学校体育研究連合会ダンス研究部会講師・アドバイザー（常任理事会3回/年、理事会2～3回/年、研究授業3回/年、実技研修会1回/年）	
	130			浜田市学校体育研究連合会	令和4年度創作ダンス発表会 講師	
	131			松江市教育研究会小学校体育部会	第17回松江市小学校表現運動発表会 講師	
	132			雲南市子ども政策局 子ども政策課	雲南市内の教育・保育施設職員を対象とした運動遊び研修会の講師	
	133			雲南市立認定こども園大東こども園	島根県国公立幼稚園・こども園教育研究大会 会場園 指導講師 研究テーマに向けた指導	
	134			雲南市立認定こども園木次こども園	研究の取り組み等に対する指導講師	
	135				雲南保育研究会公開保育の指導講師	
	136			松江市保育研究会	保育士を対象とした運動遊び研修会 講師	
	137			島根県レクリエーション協会	レクリエーション指導者を対象とした運動遊び研修会 講師	
	138			社会福祉法人虹の子福祉会	研修会 講師	
	139			委員	島根県	結集！しまねの子育て協働プロジェクト推進委員会委員
	140				学校運営協議会委員（島根県立松江農林高等学校）	
	141				学校運営協議会委員（松江市立湖南中学校）	
	142				スポーツ推進審議会委員	
	143				雲南市	身体教育医学研究所うんなん運営委員会委員
	144				雲南市教育委員会	雲南市いじめ問題対策連絡協議会委員長
	145				雲南保育協議会	研究発表の指導助言者
	146	雲南市キラキラ雲南	雲南市加茂B&G海洋センターラソンテ運営委員長			
147	島根県立松江農林高等学校	学区運営協議会委員 魅力化コンソーシアム委員				
148	宮下 裕一（教授）	委員	島根県社会福祉協議会	しまね保育士確保・定着推進会議委員		
149			島根県保育者養成校連絡協議会	保育者確保・定着研究ワーキンググループ		
150	渡辺 一弘（教授）	委員	島根県保育者養成校連絡協議会	保育者養成教育研究ワーキンググループリーダー		
151			島根県立出雲高等学校	「山陰探求サミット～みんなの言葉と思いで学びを深めよう～」の審査と講評		
152	小林 美沙子（准教授）	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和4年度保育士就職・お仕事応援セミナー講師 「制度と発達段階」（近年の保育制度の動向について・子どもの発達と保育）		
153	渡邊 寛智（准教授）	委員	出雲市芸術文化振興財団	出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会音楽家オーディション審査員		
154			その他	地域貢献のための演奏会企画・運営などを行う「クラシックプレゼンター山陰」（任意団体）を設立		
総合文化学科	155	山根 繁樹（教授）	講師	今井書店TONOMACHI63	地域の方を対象とした文学講座の講師	
	156		委員	社会福祉法人嵩見保育所	社会福祉法人嵩見保育所 評議員	
	157	キッド・ダスティン （准教授）※R4.9月退職	講師	大社国学館	大社国学館 講師（R4.7.5「国際的視点から見た神道」）	
	158		委員	島根県 隠岐支庁県土整備局	「しまねインフラツーリズム in OKI」ワーキング会議のアドバイザー	
	159			島根県松江警察署	警察署協議会委員	
	160		その他	株式会社 田部	島根の歴史・文化・食等に関する英語コラムの作成と㈱田部のWebサイト等での発信、地域英語教育へのサポート及びこれらに付随する業務	
161	倉橋 徹（准教授）	講師	一般社団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	しまね探究フェスタ2022サポーター		

令和4年度 実習実施施設・機関一覧

区分	所在地	施設・機関名	
保育所	松江市	松江市立城東保育所／松江市立白瀧保育所／松江市立城西幼保園／おおぞら保育園／にじいろ保育園／笑美保育所／しらとり保育所／しらゆり第2保育園／しらゆり千鳥保育園／しらゆり保育園／たまち母衣保育園／みずうみ保育園／ひらぎの保育園／みのり保育園／本庄保育所／法古保育所／松江認定こども園／松原保育園／まつお保育園／みどり保育所／愛恵保育園／虹の子保育園／なかよし保育園／松江ナザレン保育園／こぼと保育園／わかたけ保育園／ひよし第2保育園／乃木保育所／袖師保育所／のぎこども園／みつ田和山保育園／なの花保育園のぎ／なの花保育園／ふたば第一こども園／ふたば第三こども園／ふたば第四こども園	
	出雲市	出雲聖園マリア園／出雲乳児保育所／きんろう保育園／すぎの子保育園／おやま保育園／なかの保育園／さとかた保育園／西園保育園／外園保育園／神門第II保育園／出雲サンサン保育園／ねむの木保育園／ほくよう保育園／平田保育所／中部保育所／ひらた西保育園／ハマナス保育園／こぐま保育園／東部保育園／出西保育園／あい川保育園／かなで保育園／おおつか保育園／たちばな保育園／ひまわり第2保育園／浜山あおい保育園／浜山あまつひ保育園	
	安来市	安来市立安来保育所／安来市立認定こども園広瀬／安来市立認定こども園飯梨／安来市立認定こども園大塚／あかえこども園／切川保育所	
	雲南市	雲南市立かもめ保育園／みなみかも保育園／たちばら保育園	
	大田市	たから保育園	
	江津市	認定こども園のぞみ保育園	
	浜田市	美川保育園	
	隠岐の島町	隠岐の島町立都万保育所／隠岐の島町立ごか保育園／隠岐の島町立下西保育所	
	奥出雲町	阿井保育所	
	邑南町	高原保育園	
	津和野町	木部さとやま保育園／津和野幼花園	
	米子市	加茂保育園／かいけ心正こども園／車尾保育園／キッズタウンさくら	
	日吉津村	日吉津保育所	
	境港市	梅檀保育園	
	鳥取市	松保保育園	
	岡山市	大元ちどり保育園	
	広島県庄原市	庄原市立高保育所	
	兵庫県猪名川町	愛南町立城辺保育所	
	愛媛県愛南町	猪名川町立猪名川保育園	
	児童福祉施設 (障害福祉サービス事業所を含む)	松江市	島根県中央児童相談所／松江赤十字乳児院／島根東光学園／松江学園／国立病院機構松江医療センター／社会福祉法人つわぶき(児童発達支援センターやましろ)／社会福祉法人つわぶき(児童発達支援センターのぎ)／しのめ寮／センターはばたき／さくらの家
出雲市		児童心理療育センターみらい	
安来市		安来学園／櫻苑	
浜田市		聖煌寮／こくぶ学園	
隠岐の島町		仁万の里	
米子市		米子聖園ベビーホーム／米子聖園天使園	
大山町		光徳子供学園	
幼稚園	松江市	松江市立母衣幼稚園／松江市立城北幼稚園／松江市立雑賀幼稚園／松江市立津田幼稚園／松江市立古志原幼稚園／松江市立川津幼稚園／松江市立大庭幼稚園／松江市立持田幼稚園／松江市立古江幼稚園／松江市立佐太幼稚園／松江市立たまゆ幼稚園／松江市立出雲郷幼稚園／松江市立幼保園のぎ／松江市立城西幼保園／松江市立やくも幼保園／育英幼稚園／松江暁の星幼稚園	
	出雲市	出雲市立今市幼稚園／出雲市立大津幼稚園／出雲市立上津幼稚園／出雲市立川跡幼稚園／出雲市立湖陵幼稚園／出雲市立庄原幼稚園／出雲市立神西幼稚園／出雲市立大社幼稚園／出雲市立高浜幼稚園／出雲市立高巣幼稚園／出雲市立西野幼稚園／出雲市立逢坂幼稚園／出雲市立四絡幼稚園／出雲市立川跡幼稚園／認定こども園光幼保園	
	雲南市	雲南市立寺領幼稚園／雲南市立大東こども園／雲南市立西こども園／雲南市立三刀屋こども園	
	安来市	安来市立安来幼稚園／安来市立認定こども園荒島／安来市立島田こども園／ふたばこども園	
	大田市	大田市立大田幼稚園	
	浜田市	浜田市立長浜幼稚園	
	米子市	学校法人かもめ幼稚園	
	鳥取市	学校法人小さき花園幼稚園	
	小学校	松江市	松江市立乃木小学校／松江市立雑賀小学校／松江市立中央小学校／松江市立古志原小学校／松江市立法吉小学校／松江市立城北小学校
		雲南市	雲南市立三刀屋小学校
安来市		安来市立社日小学校	
大田市		大田市立長久小学校	
特別支援学校		松江市	島根県立松江養護学校／島根県立松江清心養護学校／島根県立松江緑が丘養護学校
出雲市	島根県立出雲養護学校		
浜田市	島根県立浜田養護学校		
益田市	島根県立益田養護学校		
江津市	島根県立江津清和養護学校		
隠岐の島町	島根県立隠岐養護学校		
邑南町	島根県立石見養護学校		
中学校・高等学校	松江市	学校法人大多和学園開星中学・高等学校／松徳学院中学校・高等学校／島根県立松江商業高等学校／松江市立湖南中学校	
	米子市	米子市立後藤が丘中学校	

令和4年度 教員紹介

学部	学科	教員名	職名	研究(学問)分野
人間文化学部	保育教育学科	岸本 強	特任教授	体育教育学
		川中 淳子	教授	臨床心理学
		小山 優子	教授	幼児教育学・保育学
		齊藤 一弥	教授	数学教育学
		園山 繁樹	教授	特別支援教育学・行動情緒障害学・応用行動分析学
		高橋 泰道	教授	理科教育・生活科・総合的な学習の時間
		時津 啓	教授	教育学
		藤原 映久	教授	社会的養護・児童虐待・児童養護施設等への支援・里親支援
		内山 仁志	准教授	小児神経学・脳機能画像学・視能矯正学
		梶間 奈保	准教授	作曲・音楽教育・音楽認知心理学
		中井 悠加	准教授	国語教育学・詩教育論・比較国語教育論
		西村 健一	准教授	特別支援教育
		福井 一尊	准教授	美術教育学
		前林 英貴	准教授	小児保健学・小児看護学・地域保健学
		矢島 毅昌	准教授	教育社会学
		牧瀬 翔麻	講師	教育行政学・教育政策学
	地域文化学科	岩田 英作	教授	日本近代文学・児童文学
		工藤 泰子	教授	近代観光史(観光学)
		小柳 正司	教授	教育学・教育哲学
		高橋 純	教授	日本語文法・対照文法
		田中 芳文	教授	英語学・社会言語学
		藤居 由香	教授	地域居住環境学(住居学・都市計画・町並み景観・まちづくり)
		増原 善之	教授	東南アジア史・東南アジア地域研究
		松浦 雄二	教授	英文学
		マユー あき	教授	英語学
		木内 公一郎	准教授	図書館情報学
		古賀 洋一	准教授	国語教育学
		塩谷 もも	准教授	文化人類学・東南アジア研究
		杉 岳志	准教授	日本近世史・文化史
		竹田 茉耶	准教授	観光学
		中野 洋平	准教授	民俗学
		山村 桃子	准教授	日本上代文学
		ラングクリス	准教授	英語教育学
短期大学部	保育学科	飯塚 由美	教授	心理学(社会心理学)
		梶谷 朱美	教授	体育教育学・舞踊教育学
		宮下 裕一	教授	社会福祉学
		渡辺 一弘	教授	幼児教育学・教育社会学(歴史社会学)
		小林 美沙子	准教授	保育学
		渡邊 寛智	准教授	声楽・合唱・指揮・音楽教育
		藤 翔平 (R4.10月～)	助教	発達心理学
	総合文化学科	藤吉 知美	教授	アメリカ文学
		山根 繁樹	教授	日本近代文学
		加藤 暢恵	准教授	情報教育
		床井 啓太郎	准教授	図書館情報学・書誌学
		山村 仁朗	准教授	国語学・日本語学
		渡部 周子	准教授	日本文化
		倉橋 徹 (R4.10月～)	准教授	地域情報学
		日高 正樹	講師	教育社会学・社会教育論
キッドダスティン (R4.9月退職)	准教授	Intercultural Understanding		



島根県立大学
島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

しまね地域共生センター

Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

TEL 0852-28-8322

FAX 0852-20-0267

<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>

R5年3月版